

【令和五年度 第一学期終業式を迎えて…】

あつという間に一学期が終わろうとしています。先日の「こころ」に菅野さんが書いてくださった文章の中に、こんな記述がありました。た・・・。「私は自分を成長させるためには、人と比べすぎないことが大切だと思います。どうしても周りの人よりも劣っている部分があるとその部分ばかり見てしまうこともあると思いますが、自分を成長させるためには、周りの人とは自分を比べてマイナスな部分を見つけないよりも、周りの人のよいところを見つけて自分の成長に繋げる方が自分も周りの人も成長できると思います。…後略」、このよいところを見つけないことが、実は最も大切で、しかし意外と難しいことなのではないでしょうか。

みなさんは今日、通知表をもらいますね。そこに書かれていた数字に満足する人もいるだろうし、がっかりしてしまうこともあるかも知れません。大切なのは、ここで他人と比較しても仕方がないということです。自分自身の努力の結果として、よかったこと、課題として残ったこと、それをしつかりと認識しましょう。そして、**自分の成長した部分を確認し、他へ広げていく**ことが大切です。

いよいよ明日から夏休み、葛北大会、県大

会、関東・全国大会と様々に続いていきますが、それでも時間に少しゆとりが生まれることもあるでしょう。どうやって時間を使い、どこまで自分自身を伸ばしていくことができるのか。ここは絶好のチャンスなのです。何も考えずにだらだらと毎日を過ごしてしまえば、あつという間に夏休みは終わってしまいます。ぜひこの時間を有効に使ってください。

新型コロナウイルス感染症もある程度の落ち着きを見せています。(しかし、決して油断はできません。新規感染者も複数出ています)うがいや手洗いなど、私たちにできる予防策はしっかりと行いながら、今しかできないことを、この夏休みにできるだけ多く体験してみましよう。

三年生にとっては勝負の夏。勉強を頑張るところはもちろんですが、面談をした人には話したように、とにかく自分の足で、実際に希望することになるであろう候補の学校に、直接足を運んでみるのが大切です。そして、直接説明を聞き、自分の肌で雰囲気を感じ取ることがとても重要になります。**『百聞は一見にしかず』**です。自分に合う学校か否かは、自分自身しかわかりません。その上で進路希望先を決定し、目標に向け努力していくことが大切なのです。**『夏を制するものは受験を制す』**まさに正念場です。南中生全員の目標が叶うことを願っています。そのための努力を惜しまず実行していきましょう。

二年生はいよいよ、部活動をはじめ様々な**活動の中心**になっていきます。特に運動部では、その多くで先輩たちが引退し、みんなだけの活動になります。夏休み後半には技術講習会があったり、新人戦のシード決めが行われたりするでしょう。体力面でもこの夏が成長への鍵となります。熱中症などに注意しながら、自分の可能性を最大限発揮できるような準備をしていきましょう。**一年生と力を合わせて頑張ってください。**

そして、一・二年生には様々な体験をして欲しい。多くの本に触れたり、博物館や美術館に行ってみたり、**今しかできないことをたくさん体験してみましよう。**先日も書きましたが、図書室にはみんなが興味を持ってそうな本がたくさんあります。新刊本もあります。本屋さんにはいなくても、いろいろなジャンルの本を手にとることができるのです。時間にゆとりのあるときだからこそ、活字に触れる機会も多くできるというもの。博物館や美術館、科学館では特別展をやっていたりもします。ウェブからも観ることはある程度できますが、やはり本物に直接触れることとは大きな違いがあります。時間に少しゆとりの持てるときだからこそ、自分を高めていきましょう。

九月一日、全員が元気でまた会いましょう。夏休みを有効に過ごして、一回りたくましくなつたみなさんと再会できるのを楽しみにしています。頑張れ南中生！